

平成 30 年度
(平成29年度事業)

教育行政事務の管理及び執行の状況
に関する点検・評価報告書

赤平市教育委員会

目 次

はじめに	1
教育委員会の活動状況等	1
1 教育委員会の会議開催状況	1
2 奨学資金貸付状況	4
3 教育費の決算状況	5
点検・評価について	6
1 点検・評価の目的	6
2 点検・評価の対象	6
3 点検・評価の視点、方法	6
◎点検・評価重点施策事業一覧	7
Ⅰ 学校教育の充実	
① 学力向上対策	8
② 体力向上対策	9
③ フッ化物洗口	10
④ 安全安心な学校給食の提供	11
⑤ いじめ未然防止	12
⑥ 不登校への対応と未然防止	13
⑦ 特別支援教育	14
⑧ 小・中学校適正配置計画の推進	15
⑨ 高校通学費等助成	16
⑩ 奨学資金貸付金返還免除	17
⑪ ICT活用教育	18
Ⅱ 社会教育の推進	
① 青少年教育	19
② 出前講座	20
③ 社会教育施設等の充実	21
④ 文化財保護	22
⑤ 図書館の運営と読書活動	23
⑥ 体育、スポーツ活動	24
《資料》教育施設利用状況	25

はじめに

平成19年6月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会へ提出するとともに、公表することが規定されました。

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、作成したものです。

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

教育委員会の活動状況等

1 教育委員会の会議開催状況

【教育委員会委員】

平成30年3月31日現在

役 職	氏 名	就任年月日	任 期
教育長	多 田 豊	平成24年10月1日	平成28年10月1日 ～平成31年9月30日
委員（職務代理者）	山 本 由美子	平成24年2月1日	平成28年2月1日 ～平成32年1月31日
委員	瓜 郁 夫	平成24年10月1日	平成28年10月1日 ～平成32年9月30日
委員	坪 谷 嗣 香	平成23年7月1日	平成29年10月1日 ～平成33年9月30日
委員	高 澤 司	平成28年4月1日	平成28年4月1日 ～平成30年9月30日

赤平市教育委員会の会議は、概ね月一度開催しております。5名の教育委員が教育行政の基本方針、規則の制定・改廃などを審議しており、また、本市の教育を取り巻く状況等の報告を受け、その問題点と対応などについても協議しております。

開催日	付議案件等
平成29年4月28日	【報告】 報告第1号 教育長報告 報告第2号 教育委員会企画員の委嘱について 議案第3号 教育財産（蒸気回転釜）の取得について
平成29年5月25日	【報告】 報告第1号 教育長報告 報告第2号 赤平市立学校評議員の委嘱について 報告第3号 赤平市学校関係者評価委員の委嘱について 【議案】 議案第1号 平成29年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について 議案第2号 赤平市教育支援委員会設置規則の一部改正について 議案第3号 赤平市立学校管理規則の一部改正について 議案第4号 赤平市立学校職員服務規程の一部改正について 議案第5号 赤平市教育委員会教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する規則の一部改正について 議案第6号 平成29年度赤平市人材育成・定住促進奨学生決定について
平成29年6月30日	【報告】 報告第1号 教育長報告
平成29年7月31日	【報告】 報告第1号 教育長報告 【議案】 議案第1号 平成30年度使用小学校用教科用図書採択について 議案第2号 赤平市立幼稚園条例施行規則の一部改正について
平成29年8月31日	【報告】 報告第1号 教育長報告
開催日	付議案件等
	報告第2号 赤平市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱

	<p>について</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 平成29年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について</p> <p>議案第2号 平成29年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について</p>
平成29年9月21日	<p>【議案】</p> <p>議案第1号 平成29年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について</p>
平成29年9月27日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>議案第1号 平成29年度赤平市人材育成・定住促進奨学生の決定について</p>
平成29年10月31日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について</p> <p>議案第2号 赤平市青少年基金条例施行規則の一部改正について</p>
平成29年11月30日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 平成29年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について</p> <p>議案第2号 赤平市学校給食費の管理に関する条例の制定に係る意見の申出について</p> <p>議案第3号 赤平市学校給食費の管理に関する条例施行規則の制定について</p> <p>議案第4号 赤平市立学校設置条例の一部改正に係る意見の申出について</p>
開催日	付議案件等
平成29年12月15日	<p>【議案】</p> <p>議案第1号 赤平市学校給食費の管理に関する条例施行規</p>

	則の制定について
平成29年12月26日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 赤平市就学援助費支給規則の一部改正について</p> <p>議案第2号 赤平市教育委員会公印規則及び赤平市立小学校及び赤平市立中学校の通学区域に関する規則の一部改正について</p> <p>議案第3号 赤平市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価について</p> <p>議案第4号 赤平市社会教育委員の委嘱について</p>
平成30年1月29日	<p>【議案】</p> <p>議案第1号 平成29年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について</p>
平成30年1月31日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p>
平成30年2月5日	<p>【議案】</p> <p>議案第1号 平成29年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について</p>
平成30年2月21日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 平成29年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について</p> <p>議案第2号 平成30年度赤平市一般会計予算に係る意見の申出について</p> <p>議案第3号 平成30年度赤平市教育行政執行方針について</p> <p>議案第4号 赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設条例の制定に係る意見の申出について</p>
開催日	付議案件等
平成30年3月9日	<p>【議案】</p> <p>議案第1号 市内小・中学校教職員の任免について</p>
平成30年3月29日	【報告】

	報告第1号 教育長報告
	【議案】
	議案第1号 事務局職員の任免について
	議案第2号 平成30年度赤平市体力向上プランについて

2 奨学資金貸付状況（人材・定住促進奨学資金）

赤平市に定住を志向する有為な人材の育成及び確保を目的とし、優良な生徒・学生であって経済的な理由により修学が困難な者に、学業に必要な資金（奨学金）を貸与する。

【平成29年度 該当者～25名】 申請者11名 継続14名
（貸付決定11名、貸付不可0名）

3 教育費の決算状況

平成29年度教育費決算総額は20億1,639万6,485円で、一般会計に占める教育費の割合は19.0%となっております。これは統合中学校建設工事に関する大規模な事業が行われたため、昨年度の割合を上回るとなっております。

また、各項目別の支出額と教育費に占める割合は次のとおりです。

款	項	支出額	割合
教育費		2,016,396,485 円	100.0%
	1. 教育総務費	60,867,013 円	3.0%
	2. 幼稚園費	27,433,127 円	1.4%
	3. 小学校費	74,507,393 円	3.7%
	4. 中学校費	1,408,313,919 円	69.8%
	5. 社会教育費	321,678,316 円	16.0%
	6. 保健体育費	51,282,449 円	2.5%
	7. 学校給食費	72,314,268 円	3.6%

点検・評価について

1 点検・評価の目的

教育委員会では、法に基づく点検及び評価を行い、市民の皆様に、教育に関する事務の管理及び執行の状況について説明責任を果たすとともに、今後の施策・事業の展開等に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図ることを目的とします。

2 点検・評価の対象

平成30年度の点検・評価対象は、平成29年度教育行政執行方針に掲げている、教育行政が目指す基本的な取り組みを行うための重点施策事業としました。

◎点検・評価重点施策事業一覧（7ページ）のとおり

3 点検・評価の視点、方法

教育委員会では、この事業について、達成度・効果度の観点から、4段階（※下記評価基準A）により点検・評価し、課題・改善策など今後の取組も併せて、5段階の総合評価（※下記評価基準B）を行い、「教育行政事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書」を作成しました。

※評価基準A

評価記号	評価	評価基準
A	順調	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的で優れた取組を行った ・目標の達成に向け大きな成果をあげた ・事務事業として大きな成果をあげた ・問題点や課題がない
B	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な取組を行った ・目標の達成に向けて一定の成果をあげた ・事務事業として一定の成果をあげた ・大きな問題点や課題がない
C	見直し・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・取組を行った ・目標の達成に向けて多少の成果をあげた ・事務事業として多少の成果をあげた ・問題点や課題がある
D	休止・廃止の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・取組を行わなかった ・目標の達成に向けて成果があらなかった ・事務事業として成果はあらなかった ・大きな問題点や課題が残った

※評価基準B

評価記号	総合評価
①	拡 充
②	継 続
③	一 部 改 善
④	大 幅 改 善
⑤	休 止 ・ 廃 止

また、教育委員会が行った活動状況や施策・事業等の実施状況についての点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取り組みに向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から、点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

◎点検・評価重点施策事業一覧

大項目	所管	点検・評価重点施策事業	達成度	効果度	総合評価
学校教育の充実	学校教育課	1 学力向上対策	C	B	①
		2 体力向上対策	C	B	①
		3 フッ化物洗口	B	A	②
		4 安全安心な学校給食の提供	A	A	②
		5 いじめ未然防止	C	B	②
		6 不登校への対応と未然防止	C	B	②
		7 特別支援教育	B	A	①
		8 小・中学校適正配置計画の推進	B	B	②
		9 高校通学費等助成	A	A	②
		10 奨学資金貸付金返還金免除	B	A	②
		11 ICT活用教育	A	B	②
社会教育の推進	社会教育課	12 青少年教育	A	A	②
		13 出前講座	B	B	②
		14 社会教育施設等の充実	B	B	②
		15 文化財保護	B	B	②
		16 図書館の運営と読書活動	B	B	②
		17 体育、スポーツ活動	C	B	②

平成 29 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	学力向上対策			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入 全国学力・学習状況調査における教科に関する全ての調査において、全国の平均正答率を目指す。		
	目的	知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等を身につけるため。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 全国学力・学習状況調査における教科に関する全ての調査において、全国の平均正答率を下回る。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上プランの作成, 実施, 住民周知 ○教職員の加配(道費)による少人数指導の実施(茂尻小・赤間小) ○標準学力検査, 知能検査の実施 ○長期休業中, 放課後における補充学習の実施 ○地域の学力支援事業(道が実施)活用による教職員研修, 授業実践 		
事業費 (決算額)	平成 29 年度	* 参 考	平成 28 年度	平成 27 年度
	標準学力, 知能検査 561 千円		標準学力, 知能検査 621 千円	標準学力, 知能検査 681 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	各種施策は実施したが, 結果として全国平均を下回った。
効果度	B	各種施策の実施により, 学力向上の機運は高まりつつある。
今後の取組		
課題	各種施策の実施により, 市全体としての学力向上への機運は高まってきているが, 結果に結びついていないのが現状。	
改善策	長期休業中や放課後における, 学生ボランティアや学習サポートを充実させ, 学習習慣を身に付けさせるとともに, 結果公表を通して学力向上への協力を依頼しながら, 保護者等のさらなる意識改革を図る。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
①	理由: 最重要の課題であるため, 更に拡充, 継続して各種施策に取り組む。

平成 29 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	体力向上対策			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における結果について、全体として全国平均を目指す。		
	目的	教育委員会、学校等が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣を把握し、学校における体育・健康に関する指導を通して改善を図る。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における結果について、一部平均を上回るが、全体として全国平均を下回った。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○新体力テストの実施。 ○一校一実践の奨励。 ○体力向上の検討組織として体力向上委員会設置。 ○体力向上プランの作成、実施。 ○体育専科教員の配置。 		
事業費 (決算額)	平成 29 年度	*参考	平成 28 年度	平成 27 年度
	0 千円		0 千円	0 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	各種施策は実施したが、全体として全国平均を下回っている。
効果度	B	各種施策の実施により、一部の学年・種目において改善が見られる。
今後の取組		
課題	全国、全道平均に届かない種目の改善。	
改善策	体育専科教員における指導や、運動の楽しさを知ってもらうための取組みを家庭を通じ実施していく。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
①	理由： 重要課題の一つであるため、体育専科教員による研修、派遣の施策に取り組む。

平成 29 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	フッ化物洗口			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入 小学校の実施割合90%, 中学校実施割合80%		
	目的	児童・生徒のむし歯予防のため。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 小学校の実施割合92%, 中学校実施割合77%		
	内容	市内小・中学校でのフッ化物洗口(週1回)の実施 ・茂尻小 72名(実施割合 96%) ・豊里小 74名(実施割合 81%) ・赤間小 185名(実施割合 94%) ・赤平中 76名(実施割合 71%) ・中央中 41名(実施割合 88%)		
事業費 (決算額)	平成 29 年度	*参考	平成 28 年度	平成 27 年度
	消耗品, 薬剤等 175 千円		消耗品, 薬剤等 207 千円	消耗品, 薬剤等 149 千円

項目別点検評価 (*評価基準~A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	実施割合が88%で、ほぼ予定通り実施できている。
効果度	A	児童・生徒のむし歯予防に効果があると考えられる。
今後の取組		
課題	フッ化物洗口実施による効果等について、保護者等の理解が十分でない。	
改善策	フッ化物洗口実施による効果等を比較検証することは困難だが、有効性について周知に努める。	

総合評価 (*評価基準~①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 実施による有効性について周知を行いながら継続実施する。

平成 29 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校給食センター	
事業名称	安全安心な学校給食の提供			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入		
	目的	学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図ることを目的として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づき、学校給食センターを設置し、児童・生徒に安全・安心な給食を提供する。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入		
	内容	○給食の提供 ・給食日数 190日 ・提供食数 119,298食(前年度122,065食) ・バイキング給食の提供(各学校年1回) ・蒸気回転釜・フライヤーを設置し、調理業務の効率化、衛生管理の強化 ○地産地消 ・地元の食材使用率 19.04%(前年度17.36%)		
事業費 (決算額)	平成 29 年度	* 参 考	平成 28 年度	平成 27 年度
	学校給食センター費 72,315 千円		学校給食センター費 33,467 千円	学校給食センター費 53,811 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	衛生管理の強化をしながら、安心安全な学校給食を提供した。
効果度	A	地産地消を行いながら、おいしい給食の提供に努めた。
今後の取組		
課題	食材費の値上げにより、現在の給食単価での提供は困難になってきている。	
改善策	食材費の値上げ相当分を検討して行かなければならない。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由： 地産地消を図りながら、安全安心な学校給食の提供を継続実施する。

平成 29 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	いじめ未然防止			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入 いじめ防止アンケートの質問項目「いじめは絶対に許されない」における「はい」の回答率が小学校90%以上, 中学校が80%以上		
	目的	いじめは, どの学校でも, どの児童生徒にも起こりうるという認識のもと, いじめの問題を根本的に克服するためには, いじめの未然防止が最も大切であるため。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 いじめ防止アンケートの質問項目「いじめは絶対に許されない」における「はい」の回答率が, 小学校87.5%, 中学校が77.4%		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケートの実施による実態把握(年2回) ○「いじめ問題対策連絡協議会」の開催による関係機関の連携強化 ○「子ども会議」の開催による児童・生徒交流、事例発表 ○青少年センター専門指導員による学校訪問等 ○いじめチェックシートの配布 		
事業費 (決算額)	平成 29 年度	* 参 考	平成 28 年度	平成 27 年度
	委員報酬 14 千円		13 千円	0 千円

項目別点検評価 (*評価基準~A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	各種施策は実施したが, 目標値を下回っているため, さらなる啓発活動等意識改革が必要。
効果度	B	家庭に対する周知や「いじめ問題対策連絡協議会」の開催により, 関係機関の連携, 情報共有等が図られた。
今後の取組		
課題	「いじめはダメ」ということが十分認識されていない。	
改善策	継続して訴えていく事, 学校, いじめに関する会議を通して理解してもらう。	

総合評価 (*評価基準~①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 重要課題であるため継続して取り組む。

平成 29 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	不登校への対応と未然防止			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入 不登校生徒への適切な対応や未然防止策により、不登校生徒割合を前年度に比較して改善させる。		
	目的	生徒の不登校・問題行動等の未然防止や早期発見・早期対応を図るとともに、取り巻く環境への働きかけなど、関係機関と連携しながら問題解決にあたる。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 不登校生徒4名(前年度5名)		
	内容	○北海道派遣のスクールカウンセラー1名(道費198時間)による相談業務(各中学校) ○青少年センター専門指導員による学校訪問等 ○関係機関等の連絡、調整及びケース会議開催		
事業費 (決算額)	平成 29 年度	* 参 考	平成 28 年度	平成 27 年度
	0 千円		0 千円	0 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	人数は減少したものの、各種施策は実施しながら、早期における対応・対策が必要。
効果度	B	各関係機関との連携・情報共有を密にすることができた。
今後の取組		
課題	不登校, 問題行動の早期発見。	
改善策	学校と家庭, 関係機関との連絡を活発に行い問題解決の糸口を探る。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 重要課題であるため継続して取り組む。

平成 29 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	特別支援教育			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入		
	目的	特別支援教育は、それぞれの児童生徒の状況に応じた学習環境の設定やきめ細やかな対応が必要であり、教員等の配置により学習・学校生活面の支援を行い、円滑な学校教育活動の遂行を図る。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 赤間小2名は短時間勤務者の配置ではあるが、各小・中学校に特別教育等支援員を配置できた。		
	内容	○各小・中学校に特別支援教育支援員を配置できた。 ○教育支援委員会の開催(3回) ○就学相談、就学指導		
事業費 (決算額)	平成 29 年度	* 参 考	平成 28 年度	平成 27 年度
	0 千円		0 千円	0 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	各小学校及び赤平中学校に特別支援教育支援員を配置した。
効果度	A	支援員の配置により、各種の学習・学校生活面の支援に効果があった。
今後の取組		
課題	発達障害児が増加傾向にあるため、就学時健診や就学指導の段階で、保護者理解も含め適切な指導が必要になってきている。	
改善策	就学相談の体制づくりなど検討する必要がある。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
①	理由: 重要課題の一つであるため、専門機関の受診や相談などの拡充が求められる。

平成 29 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課総務係	
事業名称	小・中学校適正配置計画の推進			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入		
	目的	中学校の平成30年4月統合, 2学期からの新校舎への移転を目指し, 建築工事や学校間協議等の準備を円滑に進める。 赤平中学校跡地での小学校校舎新築, 平成34年4月統合を目指す「小・中学校適正配置計画【変更】」について, 保護者説明会などで説明及び意見交換を行う。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入		
	内容	○統合中学校建設工事 1,347,774千円 工事監理 15,696千円 建設工事 1,140,145千円 造成等整備 103,014千円 駐車場等整備 88,919千円 ○小・中学校適正配置計画【変更】説明会(2回) ○中学校統合準備委員会(2回)		
事業費 (決算額)	平成 29 年度	* 参 考	平成 28 年度	平成 27 年度
	1,347,774 千円		300,910 千円	24,419 千円

項目別点検評価 (*評価基準~A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	中学校については, 予定どおり工事を行った。小学校の適正配置計画変更版についての説明及び意見交換を進め, 小学校統合については2校のPTAからの合意をいただいた。
効果度	B	統合中学校の環境整備を図り, 教育環境の向上に寄与した。 実施時期や整備方法についての周知を進め, 一定程度の理解をいただけたことで, 教育環境向上に寄与する「小学校統合」の足掛かりをつくることができた。
今後の取組		
課題	小学校統合を円滑に進めるため, 小学校統合準備委員会を早期に立ち上げ協議・検討を進めるとともに, 平成34年度の新築統合に支障をきたすことのないよう, 基本設計, 実施設計, 建設工事等に計画通り着手及び完了していく必要がある。	
改善策	設計等業務を遅滞なく遂行しつつ, 小学校1校も視野に入れた統合協議の結論を, 保護者や児童の意向に寄り添いながら導き出していく。	

総合評価 (*評価基準~①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 市内小・中学校の統合に中・長期的な結論が見いだされ, 伴って必要とされる施設整備が完了するまでの間, 赤平市の学校教育の充実を本旨とした小・中学校適正配置計画の推進を継続する。

平成 29 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	高校通学費等助成			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入		
	目的	高等学校等に就学している生徒の通学費等の一部を助成するための支援金(月額5,000円)を保護者に交付し,その負担軽減を図る。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入		
	内容	○生徒1人につき月額5,000円を原則四半期ごとに交付 ・支給人数 226人 ・支給総額 12,775,000円		
事業費 (決算額)	平成 29 年度	* 参 考	平成 28 年度	平成 27 年度
	12,775 千円		12,655 千円	千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	事業開始から2年目となるが,円滑に執行できた。
効果度	A	高校等に通学する生徒の保護者の負担軽減に寄与した。
今後の取組		
課題	他の子育て支援施策とともに定住促進等にどの程度効果があるか,その検証を行う必要がある。	
改善策	なし	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 平成28年度からの新規事業であるため,当面同じ内容で継続する。

平成 29 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課総務係	
事業名称	奨学資金貸付金返還金免除(人材育成・定住促進奨学金)			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入		
	目的	高校・大学等を卒業後、赤平市に居住し就労する方の奨学資金の返還を免除することにより、市内企業への就職、定住を促進することを目的とする。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入		
	内容	28年度新設の「赤平市人材育成・定住促進奨学金」に規定を設け、卒業後1年を経過した際の居住・就労状況により、返還金を免除する。 ○人材育成・定住促進奨学金の貸与 ・貸与25名(高校4名, 専門学校10名, 短大1名, 大学10名), うち新規11名 ・貸与金額(高校・高専は月額2万円以内, 専門学校・大学等は月額4万円以内) ○免除の要件～市内居住市内就労で全額・市内居住市外就労で半額免除 ○返還免除は28年度卒業者の就労状況等により, 30年度から実施。 ○利便性を高めるため, 申請時期を限定しない随時受付を開始した。 ○周知徹底のため, 高校3年生のいる全世帯に本事業のお知らせを配布した。		
事業費 (決算額)	平成 29 年度	* 参 考	平成 28 年度	平成 27 年度
	10,080 千円		6,840 千円	千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	新規貸与者数が平成28年度(初年度)を若干下回り, 制度周知の徹底が課題となった。
効果度	A	将来赤平市に定住を指向する学生の学資金に対し援助できた。
今後の取組		
課題	平成30年度に返還が開始されて以降, 返還免除の割合等の実績から, 本事業が市内定住促進にどの程度寄与するものであるかを検証する必要がある。	
改善策	更なる制度の周知徹底を図るとともに, 効果・検証の状況によっては, 制度の見直しを図る必要がある。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 平成28年度からの新規事業であり, 実施効果の検証も平成30年度以降となることから, 当面同じ内容で継続する。

平成 29 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	ICT活用教育			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入		
	目的	ICT機器を活用する情報能力を育み, 学習の共有, 学習意欲とともに思考力・判断力などの向上につなげる。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入		
	内容	タブレット端末等のICT機器を導入し, 校内研修もを行いながら, ICT機器を活用した授業等を展開した。 ○小学校用タブレット端末78台導入 2,495千円 ○小学校用タブレット端末用授業支援ソフト 654千円		
事業費 (決算額)	平成 29 年度	* 参 考	平成 28 年度	平成 27 年度
	3,149 千円		1,545 千円	500 千円

項目別点検評価 (*評価基準~A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	H27年度・H28年度のモデル校を指定した試験的導入での効果・実績を踏まえ, 各小学校1クラス分のタブレット端末を導入した。
効果度	B	小学校での配置により, 学習活動等において, 視覚に訴えわかりやすい, 集中力を途切れさせないなどの効果が見られた。
今後の取組		
課題	小学校での導入が進むとともに, 中学校でも同レベルの配置が求められる。その効果を検証しつつ適正な台数を見極め, 小学校での台数の充実と中学校への本格導入を目指したい。	
改善策	小・中学校でのニーズを把握し, 必要となる台数を確保していく。また, 統合を契機に, 中学校における1クラス分程度の配置を早急に進める。	

総合評価 (*評価基準~①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 学校教育の充実にあつて, ICT環境整備の推進は必然かつ効果的な方策であることから, 継続して取り組む。また, 相当な経費をかけて導入された機器が継続的に使用されるよう, 教職員への研修機会の確保やサポート体制の向上に努める。

平成 29 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課社会教育係	
事業名称	青少年教育			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入		
	目的	青少年教育の振興、健全育成や非行防止にかかる活動を助長するため、青少年育成事業を実施するとともに、各地区交流の推進やリーダー養成などを通じ児童・生徒の体験活動等を支援・奨励する。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 ・青少年健全育成事業(夏季復活、冬季2名減、かるた16名増、冬あそび56名増) ふるさと少年教室の開講(延べ7名増)・あかびら子どもまつりの実施(子ども53名増)		
	内容	○青少年育成健全事業の実施 夏季スポーツ大会(19名)・冬季スポーツ大会(60名)・百人一首大会(24名)・子ども冬あそび事業(90名) ○ふるさと少年教室の開講 計5回(延べ82名) ○あかびら子どもまつりの実施 子ども283名、大人177名参加。出店した「村」の数は6村。		
事業費 (決算額)	平成 29 年度	* 参 考	平成 28 年度	平成 27 年度
	251 千円		17 千円	78 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	参加者数が前年度実績を上回った。
効果度	A	参加した子どもたちや指導者については、実践・交流などを通じ意義が伝わった。
今後の取組		
課題	参加児童は年度ごとに増減がある、また、学校統合により地域の育成会活動も停滞している。	
改善策	更なる学校統合にあわせ、育成会組織の統合・再編や、学校との連携などを図る必要がある。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由： 気軽に参加できる体制を構築し、継続して事業を実施する。

平成 29 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課社会教育係
事業名称	出前講座		
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入	
	目的	子どもから高齢者まで幅広く、また気軽に学習できることを目的に、一定の人数の市民に対し、出張講座(出前講座)を実施し、生涯学習社会の実現を図る。	
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 ・出前講座数 46講座 ・受講者数 13件 296名(28年度22件 657名)	
	内容	主な講座の受講者数等 ・炭鉱遺産を訪ねて 3件 86人 ・消防署見学 5件 100人	
事業費 (決算額)	平成 29 年度	*参考	平成 28 年度
	0 千円		0 千円
			平成 27 年度
			0 千円

項目別点検評価 (*評価基準~A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	消防庁舎等の見学者が減ったため、前年度実績を下回った。
効果度	B	様々な学習を通して知識の向上を図ることができた。
今後の取組		
課題	小中学校の学習や町内会や市内グループの研修として利用されているため、学校の授業やその他研修の多い年等により受講者数が左右される。	
改善策	その他の学習活動等での利用や団体等の利用のさらなる促進のため、市民のニーズに合わせた講座の見直しや、周知方法を検討する。	

総合評価 (*評価基準~①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 生涯学習社会の実現を図るため継続して事業を実施する。

平成 29 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課
事業名称	社会教育施設等の充実		
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入	
	目的	【東公民館】地域社会のコミュニティの活性化を目指した、各種講座、趣味、教養事業等の学習機会を設けることにより、生涯を通して、豊かな、充実した人生を創造するとともに、常に学びあう姿勢を養う。	
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 各施設の利用状況等～巻末資料のとおり	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ●利用人数 8,311人(H28 8,697人) ●使用料収入 366千円 ●公民館講座 11講座・延べ137人受講 ●まちなか公民館講座 9講座 228人受講 	
事業費 (決算額)	平成 29 年度	* 参 考	平成 28 年度
	6,164 千円		平成 27 年度
			5,362 千円
			6,622 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	概ね当初の予定通り実施できた。
効果度	B	利用者が減少傾向にあるが、概ね有効に利用されている。
今後の取組		
課題	多種多様な学習の場を設けることで、市民の交流機会を増やし文化の浸透を促す。	
改善策	今後も運営側と講師の意思疎通等を円滑に行うよう工夫し、講座の質の向上を目指す。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由： 施設環境を充実させながら、継続していく。

平成 29 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課文化財保護係
事業名称	文化財保護		
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入	
	目的	地域の歴史・文化を物語る郷土資料を保存・活用し、教育や郷土理解に資するほか、郷土資料の中で特に価値の高いものを文化財として保護していく。	
実績	実績値	*数値目標がある場合記入	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○炭鉱遺産ガイダンス施設の建設 ○文化財保護委員会議(年1回,平成30年3月23日,委員3名出席) <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護事業報告 ○郷土資料の保護・普及 ○指定文化財の保護管理 ○埋蔵文化財包蔵地の保護～文化財パトロール,工事立会等により確認 ○炭鉱遺産の保存・管理 <ul style="list-style-type: none"> ・旧住友赤平炭鉱施設の保存・管理 ・炭鉱遺産の公開(立坑 1,454名,自走枠 819名,資料館 132名) 	
事業費 (決算額)	平成 29 年度	* 参 考	平成 28 年度
	276,068 千円		平成 27 年度
			6,238 千円
			86 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	見学者数が前年度実績を上回った。
効果度	B	郷土資料の活用・教育・普及について一定の効果を上げることができた。
今後の取組		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学芸員による出前講座やガイダンス施設開館後の炭鉱遺産公開について,利用人数の拡大に向けて工夫・検討が必要。 ・炭鉱遺産の文化財化を念頭に置きながら,適切な年次計画・方針を策定し実施していくことが課題である。 	
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・炭鉱遺産の中長期的な保存・活用方針について,文化庁や道教委の指導・助言を仰ぎながら,早期の文化財化に向けて作業を進める。 	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 概ね一定の成果を挙げていることから,更なる施策の展開に向けて今後も取り組みを展開する。

平成 29 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課図書館図書係	
事業名称	図書館の運営と読書活動			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入		
	目的	市民の知的ニーズに応える公共図書館をめざし、図書館職員やボランティアなどの人材面でも、図書館運営のノウハウを蓄積させることで、地域に根ざした読書環境づくりに努める。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入		
	内容	<p>○蔵書数 55,472冊(平成29年度末現在) (H29購入～一般図書1,221冊, 児童図書789冊, 計2,010冊)</p> <p>○会館日数及び利用者数 236日, 4,499人(1日平均19.1人)</p> <p>○年間貸出冊数]21,515冊(1日平均91.2冊)</p> <p>・ブックスタート事業～10ヶ月相談時の乳児を対象に絵本を提供し、赤ちゃんと保護者がふれあうきっかけを作る。</p> <p>・絵本読み聞かせ事業～幼児を対象に毎月、職員により絵本などを用いて読み聞かせを実施。</p> <p>・読書感想文コンクール～小・中学生を対象に実施。</p> <p>・古本フェスタ～寄贈いただいた古本や不用となった図書、実用書、雑誌を除籍処分し、市民に無償提供した。</p> <p>・朗読とギターのリズム～朗読や音楽を聴くことによって脳幹が活性化され、自律神経の動きや基本的な生活リズムを安定させ、癒しの効果が得られた。</p>		
事業費 (決算額)	平成 29 年度	* 参 考	平成 28 年度	平成 27 年度
	7,843 千円		7,062 千円	7,349 千円

項目別点検評価		
達成度	B	1日平均利用者数が前年度と比較して、若干減少した。
効果度	B	利用者数、貸出冊数ともに減少の傾向であるが、読書週間事業、家読啓発事業などの実施により新規の利用者は徐々に増えている。
今後の取組		
課題	人口減少や少子高齢化等に伴い利用者が減少の傾向にある。	
改善策	従来から実施している移動図書館の拡充や他の事業の一部見直しを図る。また、家読の習慣化を目指し、特に乳幼児児童生徒とその保護者に対するPRを図っていく。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 読書環境を充実させながら、継続していく。

平成 29 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課社会体育係	
事業名称	体育, スポーツ活動			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入 各事業の参加者が前年度実績を上回る。		
	目的	子どもからお年寄りまで, スポーツを通して, 心身ともに健康で豊かなライフスタイルを築く生涯スポーツ社会の実現をめざす。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 前年度実績より増加～市民スマイルウォーキング 前年度実績より減少～子ども体力測定会・走り方教室、一般水泳教室、子ども水泳教室、ミニバレーボール大会、軽スポーツ大会、ニュースポーツ大会、		
	内容	【スポーツ・レクリエーションスポーツ大会】 ・ミニバレーボール大会～参加者 37名(7チーム) ・軽スポーツ大会～参加者 20名 ・ニュースポーツ大会～参加者 12名 【スポーツ教室】 ・一般水泳教室～参加者3名 ・子ども水泳教室～参加者16名 ・バレーボール教室～参加者13名 ・子ども野球教室～参加者30名 【北翔大学との包括連携事業】 ・子ども体力測定会・走り方教室～参加者43名 ・市民スマイルウォーキング～参加者64名		
事業費 (決算額)	平成 29 年度	* 参 考	平成 28 年度	平成 27 年度
	619 千円		629 千円	720 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	前年度実績と比較して, 事業によっては参加者が減少している。
効果度	B	各種大会やスポーツ教室に参加された方からは, 概ね好評を博している。
今後の取組		
課題	年々参加者が減少している。	
改善策	参加者からの声を活かすことで大会の充実を図りながら, 各種大会等の参加者の増加と定着化に努める。また, 子どもたちを対象としたスポーツ教室等を実施し, スポーツの楽しさを体験してもらい, さらに技術の向上を図る。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 周知及び実施方法を再検討して, 参加者の増加を図る。

《資料》

教育施設利用状況

【交流センターみらい】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 25	4,853	4,616	4,995	2,164	10,226	4,877	7,757	4,162	1,825	4,642	3,243	2,199	55,559	
	H 26	3,674	2,350	2,582	3,748	7,154	4,237	15,903	3,652	1,999	6,632	2,934	7,828	62,693	113%
	H 27	2,896	3,288	4,410	4,213	5,911	4,192	15,658	3,374	1,737	6,044	3,453	2,000	57,176	103%
	H 28	5,656	3,085	3,963	2,264	5,201	5,899	5,887	3,021	2,700	6,605	3,373	4,599	52,253	94%
	H 29	4,476	2,182	3,506	1,926	6,717	4,393	5,594	3,598	1,721	3,284	3,498	1,544	42,439	81%
使用料 (円)	H 25	234,145	159,980	237,630	152,115	223,755	155,060	202,530	289,950	171,840	270,345	190,870	603,165	2,891,385	
	H 26	127,415	177,250	153,220	171,240	151,115	103,960	237,445	242,250	219,740	191,935	178,985	597,190	2,551,745	88%
	H 27	230,320	204,445	219,125	195,375	145,690	116,790	231,890	259,945	214,505	265,965	170,865	613,055	2,867,970	99%
	H 28	140,685	240,585	235,675	136,635	118,510	223,970	230,070	240,610	311,940	185,225	187,600	682,270	2,933,775	101%
	H 29	153,840	153,650	131,030	121,740	133,280	155,985	224,125	227,995	179,970	319,665	146,460	468,170	2,415,910	82%

【東公民館】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 25	806	700	804	895	932	674	921	1022	641	654	836	1,506	10,391	
	H 26	833	812	629	1012	918	901	1000	932	828	812	764	1,398	10,839	104%
	H 27	1,232	505	831	657	1,065	887	846	596	644	524	971	1,446	10,204	94%
	H 28	676	755	696	745	1,050	661	576	694	446	367	995	1,036	8,697	85%
	H 29	685	495	596	798	657	744	794	629	426	397	1,004	1,086	8,311	96%
使用料 (円)	H 25	51,724	41,035	32,533	25,165	29,763	39,050	68,650	54,538	68,204	52,520	51,189	58,442	572,813	
	H 26	44,620	38,460	49,375	31,835	34,595	26,119	57,640	41,937	69,780	41,708	67,294	62,917	566,280	99%
	H 27	18,828	45,678	30,435	18,450	24,475	23,564	46,348	34,712	59,136	36,153	52,958	53,662	444,399	78%
	H 28	7,882	38,190	25,500	21,840	33,014	24,089	32,752	35,624	43,524	30,429	36,086	54,638	383,568	86%
	H 29	22,420	29,735	23,110	32,080	15,125	28,194	37,276	36,400	37,908	26,774	39,492	37,682	366,196	95%

【図書館】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 25	475	470	490	530	506	551	485	467	431	377	411	478	5,671	
	H 26	420	399	449	514	519	462	464	505	442	390	384	449	5,397	95%
	H 27	382	381	443	557	444	387	444	468	402	417	399	439	5,163	96%
	H 28	446	474	458	492	401	505	410	441	467	416	399	405	5,314	103%
	H 29	440	338	421	386	393	365	381	401	373	301	298	402	4,499	85%
貸出数 (冊)	H 25	1,903	1,866	1,780	2,064	1,948	2,039	1,907	2,053	2,192	1,605	1,700	2,034	23,091	
	H 26	1,694	1,675	1,752	2,040	2,156	1,931	1,873	2,196	1,911	1,633	1,652	1,964	22,477	97%
	H 27	1,761	1,622	1,748	2,090	1,829	1,694	1,856	1,928	1,827	1,921	1,810	1,840	21,926	98%
	H 28	2,060	2,060	2,082	1,991	1,918	2,018	1,727	2,007	2,259	1,763	1,798	1,958	23,641	108%
	H 29	2,155	1,669	2,023	1,760	1,819	1,729	1,761	1,873	1,910	1,487	1,480	1,849	21,515	91%

【総合体育館】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 25	11,414	1,484	797	2,780	1,810	2,281	1,962	2,892	2,454	2,609	2,131	2,825	35,439	
	H 26	13,112	1,452	1,766	1,798	1,940	2,925	1,996	3,657	2,205	2,410	2,304	3,527	39,092	110%
	H 27	12,635	1,308	1,659	1,492	1,566	2,537	2,028	3,020	2,311	2,385	2,587	2,760	36,288	93%
	H 28	12,194	1,780	1,897	1,627	1,715	2,494	5,580	3,158	2,772	2,325	2,413	3,198	41,153	113%
	H 29	11,875	1,770	1,918	1,641	1,822	2,586	6,899	3,601	2,759	4,611	2,282	3,637	45,401	110%
使用料 (円)	H 25	79,444	90,160	52,540	92,045	87,200	189,240	98,790	105,059	115,923	142,558	139,912	183,468	1,376,339	
	H 26	105,804	98,180	83,730	87,490	92,160	167,480	109,110	416,062	157,184	144,934	156,722	196,096	1,814,952	132%
	H 27	82,574	72,110	106,250	90,770	70,120	314,690	123,430	166,223	215,238	154,356	172,704	210,442	1,778,907	98%
	H 28	104,238	104,885	97,100	82,780	82,100	353,310	162,890	187,774	206,418	148,332	155,974	150,696	1,836,497	103%
	H 29	97,904	104,450	92,870	76,380	88,120	203,800	203,260	209,196	148,210	183,734	141,230	203,832	1,752,986	95%

【市民プール】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比 (%)
利用者数 (人)	H 25			2,121	3,422	3,061	1,110							9,714	
	H 26			1,826	2,909	2,574	1,200							8,509	88%
	H 27			1,707	3,292	2,681	977							8,657	102%
	H 28			1,499	3,177	2,723	844							8,243	95%
	H 29			1,746	3,200	2,307	547							7,800	95%
使用料 (円)	H 25			265,250	224,500	144,700	67,450							701,900	
	H 26			263,500	160,450	157,500	87,000							668,450	95%
	H 27			293,500	152,950	150,600	75,950	8,250					△2,000	679,250	102%
	H 28			227,500	188,550	165,350	45,300							626,700	92%
	H 29			218,950	170,450	133,100	38,550	3,050						564,100	90%

【虹ヶ丘球場】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比 (%)
利用者数 (人)	H 25		439	830	390	695	340	320						3,014	
	H 26		136	772	253	213	338	130						1,842	61%
	H 27		471	548	697	168	116	105						2,105	114%
	H 28		820	158	301	235	683	273						2,470	117%
	H 29		398	647	282	685	431	320						2,763	112%
使用料 (円)	H 25		4,950	5,400	7,795	10,635	6,425	0						35,205	
	H 26		1,575	7,875	4,295	7,240	3,065	3,975						28,025	80%
	H 27		2,475	10,775	8,340	2,495	1,700	3,375						29,160	104%
	H 28		4,950	8,450	8,600	5,785	14,515	4,725						47,025	161%
	H 29		3,350	10,650	11,500	14,660	9,750	8,280						58,190	124%

【スポーツセンターテニスコート】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比 (%)
利用者数 (人)	H 25		52	158	335	242	164	119						1,070	
	H 26		624	589	723	597	573	215						3,321	310%
	H 27		588	553	546	374	290	301						2,652	80%
	H 28		661	313	640	571	462	274						2,921	110%
	H 29		634	454	684	617	433	402						3,224	110%
使用料 (円)	H 25		11,850	6,750	15,150	7,950	4,350	3,450						49,500	
	H 26		18,900	17,100	10,200	7,500	20,850	10,050						84,600	171%
	H 27		16,950	32,100	10,650	25,950	14,700	14,100						114,450	135%
	H 28		27,450	15,450	18,600	16,200	46,200	20,250						144,150	126%
	H 29		48,900	10,650	13,350	28,350	30,300	17,100	4,050					152,700	106%

【パークゴルフ場（赤平）】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比 (%)
利用者数 (人)	H 25		26	48	656	954	1,003	913						3,600	
	H 26		820	1,030	1,270	1,094	857	1,213						6,284	175%
	H 27		1,255	1,209	1,145	1,000	1,084	1,080						6,773	108%
	H 28		1,264	1,223	1,264	672	0	0						4,423	65%
	H 29		102	50	632	536	731	539						2,590	59%
使用料 (円)	H 25														
	H 26														
	H 27														
	H 28														
	H 29														